

マツダ病院は、 後発医薬品・バイオ後続品を 積極的に採用しています

当院は、厚生労働省の使用推進の方針に従い、患者さんの負担軽減、医療保険財政の改善に資するものとして、後発医薬品（ジェネリック医薬品）とバイオ後続品（バイオシミラー）を積極的に採用しています。

後発医薬品（ジェネリック医薬品）とは

先発医薬品（新薬）の特許が切れた後に製造販売される、先発医薬品と同一の有効成分を同一量含み、効能・効果が同じ医薬品です。

先発医薬品より安価で、国の審査をクリアし承認されており、利き目や安全性などは先発医薬品と同等です。

バイオ後続品（バイオシミラー）とは

バイオ後続品は、先行バイオ医薬品※（国内で既に新有効成分含有医薬品として承認）の特許が切れた後に他の製薬会社が開発し、発売される薬です。品質、安全性及び有効性について、先行バイオ医薬品との比較から得られた同等性／同質性を示すデータ等に基づいて開発されるため、先行バイオ医薬品と安全性・有効性に影響するような違いが無い医薬品となります。

※バイオ医薬品

バイオテクノロジー（生物工学）を応用して生産されるタンパク質由来の有効成分を持つ医薬品のこと

患者さんへ

現在、多くの医薬品で出荷停止、出荷調整が生じており、全国的にも医薬品の供給不足が発生しています。当院では、医薬品の供給不足等が発生した場合には、治療計画の見直しなど、適切な対応ができる体制を整備しております。供給不足のため普段のお薬の入手が困難となった場合には、患者さんへ他の薬や治療法への変更などを説明、ご相談させていただくことがあります。ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。

ご不明な点やご心配ごとがありましたら、スタッフにお尋ねください。